



連続講座「連帯社会」

主催：公益財団法人 日本労働文化財団
連帯社会研究交流センター



「連帯社会研究交流センター」は、連合、日本労働文化財団、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立する修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」(通称：連合大学院、2015年4月開講)を支援し、連携するための機関として本年4月に発足し、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、2015年4月の連合大学院開講に向けて、「連帯社会」に関わる研究者の方々に、最近ご発表のご著書の内容を中心に問題提起をいただき連続講座を企画いたしました。第6回は、大沢真理氏をお招きして、誰もが社会で認められ、働き、所得を得て、暮らし続けていくことができる、包摂社会について、ご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

会場整理の都合により参加者は先着30名様までとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。参加申し込み方法につきましては、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行なう方法をとらせていただきますので、「イベント・シンポジウム」<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

なお、ご講演をお聞きになられる場合には、テーマに関わるご著書『生活保障のガバナンス—ジェンダーとお金の流れで読み解く』(有斐閣)を事前にお読みになっていただくことをお勧めします。

第6回：生活保障のガバナンス —ジェンダーとお金の流れで読み解く

日時 2015年3月14日(土) 15:00~17:00 (14:30開場)

場所 連帯社会研究交流センター Y502 教室

講師：大沢 真理 氏
東京大学社会科学研究所教授

大沢真理(おおさわ まり)氏のプロフィール

東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士(東京大学)。専攻は社会政策の比較ジェンダー分析。日本学術会議連携会員。1988年東京大学社会科学研究所助教授、1998年より現職。この間、ベルリン自由大学、ポッフム大学、アジア工科大学院大学、ハンザ先端研究所などで客員を務める。最近の著書：『社会的経済が拓く未来：危機の時代に「包摂する社会」を求めて』(ミネルヴァ書房、2011年)、『承認と包摂—労働と生活の保障(ジェンダー社会科学の可能性 第2巻)』(岩波書店、2011年)、『生活保障のガバナンス—ジェンダーとお金の流れで読み解く』(有斐閣、2013年)など



プログラム

* 来聴歓迎 *

15:00 ~ 15:05 開会挨拶
15:05 ~ 16:20 講演
16:20 ~ 16:55 質疑応答
16:55 ~ 17:00 閉会挨拶

~お問い合わせ~

連帯社会研究交流センター (ReCSS)

e-mail: info@recss.jp

URL: <http://recss.jp>

